作成年月日　令和７年７月７日

令和７年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」　実地研修計画書

【１　機関・団体概要】

機関・団体名	運営(法人)：特定非営利活動法人サポートセンターゆめさき 実施機関：子ども若者みらい相談プラザ sorae（なは）
機関・団体代表者 （役職・氏名）	運営(法人)：特定非営利活動法人サポートセンターゆめさき 理事長　松本大進 実施機関：子ども若者みらい相談プラザ sorae（なは）　統括責任者　松本大進
所在地	（法人住所） 〒904-2174　沖縄県沖縄市高原６丁目７番 40 号
電話番号／ＦＡＸ番号	運営(法人)：098-923-4123　／　098-923-4124 実施機関：098-943-5335　／　098-943-5475
ＨＰアドレス	https://www.sorae.okinawa
研修実施場所	〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1　沖縄県総合福祉センター内 西棟３階
研修実施場所の最寄駅	ゆいレール（沖縄都市モノレール）：石嶺駅
団体概要 （設立趣旨等）	≪実施機関：子ども若者みらい相談プラザ sorae（なは）≫ 「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、沖縄県の教育、雇用、心理・医療、福祉の行政機関及び関係機関と連携し、ニート、ひきこもり、不登校など、社会生活を円滑に営む上での困難を有するこども・若者(概ね０歳～39 歳)の様々の悩みに、心理、福祉、教育、キャリア形成等の専門的な知見を有するスタッフ（有資格者及び経験者等で構成）が対応するワンストップ相談窓口として、こども・若者の社会生活の自立に向けた支援を行う機関として設立した。
職員数	９名（非常勤９名：週４日５名、週３日以下４名）
機関・団体の アウトリーチの特徴等	ひきこもり及び不登校などで、ひきこもり状態などにあるこども・若者に対し、緊急性・適時性（アウトリーチで直接会える状態にあるか否か等）を勘案し、当事者の自宅をはじめカフェ等(当事者の希望する場所で柔軟に対応)でのアウトリーチを実施している。また、緊急性や適時性が見いだせないケースについては、保護者などを通じた間接的な支援を行うことで家族関係などの調整や当事者の動機づけを図り、アウトリーチ等の直接的な支援を促している。このように間接的な支援と、アウトリーチの直接的な支援の両輪のかみ合わせに重きを置いたアウトリーチが特徴である。 また、ひきこもり状態の背景にあるメンタルの状態、特に、トラウマについての知見を加味した見立てや支援の実施に注力している。
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	運営法人にて下記の事業等を実施している。
	・子ども若者みらい相談プラザ sorae（なは）
	・地域若者サポートステーション琉球
	・地域若者サポートステーション沖縄

【２　令和６年度中のアウトリーチの実績概要】

≪子ども若者みらい相談プラザ sorae≫

◇　アウトリーチ件数　59 件（R6 年度）

◇　対象年齢：0 歳から概ね 39 歳までの県民

◇　支援方法

・初回の相談後、アセスメント会議において支援方針を検討（基本的にスタッフ全員）

・支援方針に基づきアウトリーチを実施（必要に応じて関係機関の職員の同行）

・その他、家族相談、電話、メール相談、同行支援、教育、医療、福祉機関及び団体との連携

＊法人の各事業実績は別途となる。

【３　過去２年間におけるこども・若者の支援に関する研修実績】

令和 5 年度「アウトリーチ(訪問支援)研修」における実地研修生の受け入れ（2 名）

アウトリーチ上級研修　令和 5 年 9 月 11 日（月）

令和 6 年度「アウトリーチ(訪問支援)研修」における実地研修生の受け入れ（2 名）

【４　過去３年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

◇　夢咲学園：学校法人山口精華学園 広域通信制・単位制高校

◇　放課後等児童デイサービスゆめさきクラブ

◇　沖縄市委託事業（フリースペースゆめさき）：沖縄市在住中の中学生への学習支援

◇　沖縄県委託事業（就学継続支援員配置事業）：県立高校へ心理・福祉の支援者の配置

◇　沖縄県委託事業（沖縄県子ども・若者総合センター事業：子ども若者みらい相談プラザ sorae（なは））：「沖縄県子ども・若者総合相談センター」として、ニート、ひきこもり、不登校等の社会生活を円滑に営む上で困難を有するこども・若者からの相談に応じ、関係機関の紹介、その他必要な情報の提供及び助言を行う。

◇　沖縄県委託事業（子ども・若者社会適応促進事業）：困難を有するこども・若者に対し、生活環境や対人関係の改善などを目的とした社会適応プログラム等の実施

◇　厚労省委託事業（地域若者サポートステーション事業：サポステ沖縄・サポステ琉球）：15 歳～49 歳までの若者に対する就労支援

【５　実地研修責任者・担当者】

	実地研修での役割 (実施責任者・担当者　等)	・保有資格（アウトリーチ関連） ・アウトリーチ経験年数
1	実地研修責任者	臨床心理士 こども若者の相談及び支援経験 23 年 アウトリーチ歴 11 年
2	担当者	臨床心理士 公認心理師 こども若者の相談及び支援経験 12 年 アウトリーチ歴 11 年

【６　研修生の受入条件】

	受　入　条　件
受入可能日数	4.5 日　（活動日数）
受入可能日程	12/2（火）13 時～12/6（土）18 時半
受入可能人数	2 名
保有資格（アウトリーチ関連）の要否、その他の受入条件	教育・医療・福祉・キャリア形成の分野に係る資格（社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、キャリアＣ等）を有する者や資格取得が見込まれている者

【７　実地研修内容】

実　地　研　修　内　容 ※下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。			
実地研修全体の概要		沖縄県設置の子ども若者総合相談センターとして実施している総合相談やアウトリーチの対応を中心に、相談の受理(インテーク)、実際のアウトリーチ、見立て(アセスメント)、関係機関との連携、就労・自立支援など、当事者が社会に参加(就労や学校復帰、社会復帰等も含め)するまでの段階(プロセス)を見通して研修を行う。また、不安障がい、自閉症スペクトラム等を有するこども・若者へのアウトリーチ対応についても理解を深める。	
研修**初日**の**開始**予定時刻	研修**最終日**の**終了**予定時刻	13：00　開始 (12 時半過ぎに sorae 到着)	18：30　終了
２日目以降の研修開始時間	２日目以降の研修終了時間	アウトリーチのアポイントメントに応じて調整	アウトリーチのアポイントメントに応じて調整
初日の内容		・オリエンテーション（sorae スタッフ紹介、研修生の自己紹介《職務内容や経歴等の概略について説明》）、法人や sorae の業務概要、研修概要、留意点等について説明 ・アセスメント会議への出席	
アウトリーチ（訪問支援）を実施しない日の内容		・sorae の相談業務の流れについて担当者や sorae スタッフから説明 ・法人内の事業所への訪問、フォローアップの同行	
アウトリーチ（訪問支援）同行日の内容		・前日の振り返り ・アウトリーチ訪問に係るリサーチ ・アウトリーチの同行：対象者の状態像の共有、アウトリーチの実施と実施後の振返り	

最終日の内容	・こども・若者を対応する関係機関への訪問等 ・研修の振り返りとフィードバック（担当者、sorae スタッフ）
前年度実地研修でのアウトリーチ実施回数	5 回
今年度実地研修でのアウトリーチの回数（予定）	3 回～4 回
研修生の宿泊について	指定なし
休業日について	日曜日・月曜日・祝日（今回の研修では休業日は含まない。）
備考欄 （服装等）	● 上記スケジュール以外にも被支援者の状況に応じて訪問を行う場合がある。夕方遅めの時間帯（19 時以降）の訪問の可能性もある。 ● 研修期間中も相談対応等を行っており、担当者が急なケース対応のため計画に変更が生じることもある。（担当者が研修期間中つきっきりとはならない。） ● 上記のとおり、心理、福祉、教育、キャリア形成等の専門的な見地を有する有資格者及び経験者等のスタッフで構成されていることから、研修内容も一定の知識や経験を有する者を想定して行う。